

室町後期の薬師如来坐像  
8日に明静院で一般公開

ことし1月に市の文化財に指定された明静院(岩戸南2-10-13)の薬師如来坐像(写真)の一般公開が8日午前10時~午後3時に同院で行われる。

薬師如来坐像は、像高26.5センチで、胎内に納められていた文書から、室町時代後期の天正2(1574)年に作られたことが確認された。胸が厚く猫背気味の体部、大きくうねった衣文表現など、当時の仏像の特徴がうかがえるほか、腹の前で法界定印を結び、現在は失われているものの、両手の上に



薬壺を置いていたとみられる。市教育委員会では、市内で数少ない中世に制作された仏像のひとつで、類例の少ない姿が貴重だと話している。

問い合わせ ☎3430-1111 狛江市教育委員会社会教育課。

親子で初期消火など体験  
狛江消防署ふれあい広場

狛江消防署が3月5日日に「ふれあい広場」を開催、訪れた家族連れなどが、はしご車の体験試乗、初期消火訓練など用意された催しを楽しみながら、防火の大切さを学んでいた。

この催しは、消防署の施設や車両などを使って活動を体験し、防火や防災への関心を高めてもらおうと春の火災予防運



レスキュー隊員に挑戦

動に合わせて毎年開いているもの。

会場では、火災の通報訓練、綱渡り体験、粉じん爆発の実験、応急救護訓練などに加え、防災用品やパネル展示、防災紙芝居とビデオの上映、防火衣の試着、ミニ消防車の試乗など多彩なイベントが用意された。参加した親子連れなどは署員の手ほどきを受けながら真剣な表情で消火器やホースを使った消火などの訓練を体験していた。

大震災の教訓生かそう  
赤十字奉仕団が呼びかけ

東日本大震災の教訓を生かそうと狛江市赤十字奉仕団が3月1日日に狛江市役所市民ひろばで炊き出しを行って、訪れる市民に「あの日を忘れないで」と呼びかけた。

会場では、ビニール袋でカレーとご飯などを調理し、90食分を配布するとともに、災害時に役立つヒントを伝授した。

市民に夢の舞台を提供  
16日にKOMAEチャンス

「KOMAEチャンス」が16日回正午からエコルマホールで催される。

東京たまがわロータリークラブが、市民に発表の場としてエコルマホールの大



ハワイアンバンド「キパフル」

きな夢の舞台を提供し、狛江の文化を盛り上げようと初めて開催するもの。

出演団体を昨年10月に公募、応募した23団体から15団体を選んだ。出演するのは都立狛江高校合唱部、狛江第三中学校吹奏楽部、狛江第二中学校ダブルダッチ部に加え詩吟、ヴォーカル、太鼓など多彩。

出演するハワイアンバンド「キパフル」代表の三國守さんは「普段は高齢者や障がい者の施設などで演奏しているので、大きな舞台は初めてで、熱心に練習しています」と意欲をみせ、実行委員長の高瀬由香さんは「予想以上に応募がありうれしかったです。『音楽の街-狛江』を盛り上げるきっかけになれば」と市民の来場を呼びかけている。

問い合わせ ☎3488-6665 (回・囚・困午前10時~午後4時) 東京たまがわロータリークラブ事務局。

気軽な合同発表の場  
29日にオープンステージ

29日回午後7時から泉の森会館で催される「オープンステージin狛江」が出演者を募集している。

同館職員の坪西由美子さんが、業務を通して、音楽や舞踊など自分が得意な芸能を多くの人に見てもらおうのが個人では難しいと知り、希望者が集まって合同の発表会を開こうと自主企画した。

募集するのは先着10組で、持ち時間は1組15分。参加費は1組1,500円。

問い合わせ ☎080-6720-7515 坪西さん。



◆ 54 ◆

ビルの躯体補強や建築金物手がける

(株)鈴木建工(和泉本町1-26-1)は、狛江をはじめビルや住宅の躯体補強、建築金物の製作などを手がける会社で、昭和34年に鉄工所として開業以来、60年近い歴史を持つ。

創業者の鈴木定雄さん(大正4年~平成16年)は、山形県西置賜郡の最上川近くで生まれ、16歳で上京し都内の機械工場に就職した。その後、現在の武蔵野市と三鷹市にあった旧中島飛行機に移り、戦闘機の製造に技術者として従事した。終戦後、定雄さんは家族を連れて実家に戻った後、仙台市に転居し豆腐屋や貸し自転車屋などさまざまな仕事をしてきたが、姉夫婦が住んでいた狛江へ34年に転居、庭先で鉄工所を始めた。

最初は鉄を扱う仕事はほとんどなく、



松原通り拡幅で移転する前の旧社屋

4月の  
催事記

絵画・雑貨展 ~22日 田11:30~15:00 カレーショップ・メイ 坂本季栄子 田 ☎3480-3468 カレーショップ・メイ 洋の小物展 1日回~15日回 9:00(初日10:00)~21:30(最終日15:00) 中央公民館。ハンドメイドのバッグ、洋の小物など 田 ☎3480-4508 清藤 ライブ 1日回 20:00add 9th 田 ☎3480-4996add 9th スペインの旅(II) 5日回~10日回 10:00(初日12:00)~18:00(最終日17:00) 泉の森会館。スペイン旅行の記録写真 田 土肥哲英 田 ☎5497-5444 泉の森会館 ジャムセッション(ジャズ) 6日回 19:30add 9th 田 add 9th クラッカーズクラブ 7日回 20:00add 9th 田 ☎3480-4996add 9th お屋のジャムセッション(ジャズ) 8日回 14:00add 9th 田 add 9th こまえ楽市ミニライブ 9日回 11:30・13:30 市役所前市民広場 田 こまえ楽市の会 田 ☎3480-2074 葉匠志むら 狛江寄席 第21回春風亭小朝 独演会 9日回 14:00 エコルマホール 田 ☎3430-4106 (一財) 狛江市文化振興事業団 ジャムセッション(ジャズ) 13日回 19:30add 9th 田

鈴木建工

リヤカーやベルトコンベアなど機械の修理が中心だった。当時、狛江には多くの工場があったが、大きな設備投資が要求される工場の下請けではなく、自分の工場で作れるものと考え、主に建築関係の金物の製作を手がけることにした。39年の東京オリンピックを境に住宅建設が本格化し、翌年から鉄扉、金属製の手すりや階段など住宅金物の注文が舞い込むようになり、従業員を雇って仕事をこなした。

定雄さんの長男で現社長の和彦さん(75)は、戦争中に狛江の姉夫婦の家で生まれ、戦後は父とともに山形県や仙台市で育った。狛江に転居した後は、放送関係の仕事が志望だったため電気専門学校に進んだ。しかし、30年代後半から多摩地区の住宅建設にともなって工場の受注が急増したため、学校の長期休みの時は家業を手伝って物作りの楽しさを知り、卒業後は家業に就いた。

40年に(有)鈴木鉄工所と会社組織に改め、鉄骨を主体にしていたが、アルミやステンレスなど扱う住宅金物の素材が増えたため、46年に現在の社名に変

昭和34年に鉄工所として開業 / 3代続く物作りの精神



鈴木和彦さん(左)と知嗣さん

更した。同時にリフォーム業も始め、会社の運営を和彦さんが担当するようになった。和彦さんは家業に就いた頃から同業者組合に入り、さまざまな勉強会に参加して新しい素材や技術について学び、建築施工管理に関する資格を取得した。

和彦さんの長男の知嗣さん(39)は建築の専門学校を卒業後、建築関連の企業に就職、建設工事の現場監督に加え、施主との対応も経験、人間関係の大切さも学んだ。15年前に鈴木建工に入社、平成22年に1級建築施工管理技士の資格を取得し、皇居内警備派出所建設工事などさまざまな仕事をこなしている。

和彦さんは「建物の骨組みになる鉄骨を中心にエクステリアの製作など仕事は実に多彩で、たとえ小さな仕事でもていねいで正確な仕事を心がけ、人とのネットワークを大切にしながら、物作りの精神を3代にわたって受け継いできました。」と話している。

(株)鈴木建工 ☎3489-8802 営業時間 午前8時~午後6時。日曜・祝日 休み。

コール・レーネ40周年  
記念コンサート

女声合唱団「コール・レーネ」(三木エミ子代表)の結成40周年を記念した演奏会を23日回午後2時(開場1時30分)からエコルマホールで催す。



37周年記念コンサート

同合唱団は、公民館の子育てルームなどで知り合った当時20~30代の母親10数人が昭和52年に結成した。市内在住の音楽家谷宣子さんの指揮と指導で「日本語の歌を美しいハーモニーで届ける」をモットーに現在23人が毎週中央公民館などで練習。初夏の音楽会や東京都合唱祭に出演するほか、自主コンサートを催し、オーストリアでも演奏した。

今回の公演は平成29年度エコルマホール文化芸術活動支援事業に選ばれて催す。狛江に住んでいた作曲家三木稔作曲のオペラ「きみを呼ぶ声」より女性合唱曲「砂丘にて」などの女声合唱のほか、東日本大震災を題材に演歌歌手の新沼謙治さんが作詞・作曲した混声合唱「ふるさとは今もかわらず」を友情出演の男声合唱団Sing Joyとともに演奏。オペラ歌手の佐藤奈加子さん、小堀勇介さん、大沼徹さんがオペラのアリア4曲を披露するほか、小田裕之さんのソロピアノなど多彩なプログラムとなっている。入場料は1,000円。

問い合わせ ☎3489-6458 三木さん。

スポーツ